

# 第14回 国際日本学シンポジウム セッションⅡ

主催：お茶の水女子大学 比較日本学教育研究センター

平成24（2012）年7月8日（日）

## テーマ：西洋に響く能—移行・翻訳・解釈—

企画者・司会：ロール・シュワルツ=アレナレス（お茶の水女子大学准教授）

【使用言語：日本語】

本シンポジウムでは、能の現代作品と国内外で日本の伝統芸能の歴史の研究や創作に携わる研究者、アーティストの取り組みを紹介しながら、能の文化が西洋でいかに受容され、伝えられ、解釈されたのかという問題について、国際的、歴史的、比較的な視点で考察する。その中で、文学的な観点と演劇の実践という枠組みから、能の英語訳が果たす役割について取り上げながら、今日、テキストや装束、能の演目を通して起こる斬新で多様な日本と西洋文化の出会いに着目する。

## プログラム

会場：お茶の水女子大学 本館103号室

### ■午前の部

司会 ロール・シュワルツ=アレナレス（お茶の水女子大学准教授）

公開講演会

**西野 春雄【ニシノ ハルオ】**（法政大学名誉教授 元法政大学能楽研究所所長）  
「能になった西洋の詩・戯曲」

### ■午後の部

司会 秋山 光文（お茶の水女子大学教授）

研究発表会

**Monica BETHE【モニカ ベーテ】**（元大谷大学教授 京都アメリカ大学コンソーシアム講師）  
「装束を通して能の心を伝える」

**馬場 法子【ババ ノリコ】**（現代音楽作曲家 ヴィラ九条山招聘アーティスト）  
「謡と現代音楽の出会い」

**Janine BEICHMAN【ジャニーン バイチマン】**（大東文化大学教授）  
「翻訳と自由：英語の新作能「漂炎」」

**Jonah SALZ【ジョナ サルズ】**（龍谷大学国際文化学部教授）  
「舞台、台本、翻訳へ：英語・バイリンガルKyogenへの挑戦」

**Richard EMMERT【リチャード エマート】**（武蔵野大学文学部教授）  
「世界を能へ

—能トレーニングプロジェクト、シアター能楽、英語能とさまざまな非伝統的な能の活動—

パネル・ディスカッション

司会：戸谷 陽子（お茶の水女子大学准教授）

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号（東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅下車徒歩5分 正門（東門）からお入り下さい。）

お問い合わせ（金曜日 10:00～17:00）

比較日本学教育研究センター Tel. 03-5978-5504 E-mail ccjs@cc.ocha.ac.jp HP <http://www.cf.ocha.ac.jp/ccjs/>